



information
年金

問合せ

戸籍年金係 ☎32-1823
砂川年金事務所 ☎52-2144

国民年金への加入

国民年金は、誰もが加入する公的年金制度で、日本に住む20歳以上60歳未満のすべての方は原則、国民年金に加入する義務があります。加入者は次の3つのグループに分かれており、それぞれ加入手続きが異なります。



グループ

加入手続き

第1号被保険者

20歳以上60歳未満の農業者、自営業者、学生、フリーター、無職の方など

ご自身で戸籍年金係の窓口で行なう



第2号被保険者

会社員や公務員などの厚生年金保険加入者

勤務先が行なう

※退職したときは、ご自身で戸籍年金係窓口にて第1号被保険者への変更手続きが必要。

第3号被保険者

第2号被保険者に扶養されている年収130万円未満かつ20歳以上60歳未満の配偶者

第2号被保険者の勤務先経由で行なう



付加保険料の納付について



国民年金の一般保険料に加えて付加保険料(月々400円)を納めることで老齢基礎年金に付加年金が上乗せされる制度です。保険料を納めるためには、申し込みが必要です。

※申し込んだ月の分から付加保険料を納めることとなります。

お手続きを希望の方は、戸籍年金係の窓口にお申し出ください。

ごみ出しのマナーとルールを守りましょう！

生活環境交通係 ☎32-2215

ごみステーションの管理者は「利用するみなさん」です



市内のごみステーションの清掃や除雪、管理は利用しているみなさんの協力で行なっています。ごみステーションはきれいに、ルールを守って利用しましょう。

ごみはきちんと分別し、他のごみステーションに出すことは、絶対にしないでください。

- ごみ出しは当日朝8時まで。
- ごみ出しは決められた場所に。
- 指定のごみ袋で。

※ごみの収集時刻は、地域や当日のごみの量、降雪状況などで変わります。

間違えないで！

危険物の出し方



スプレー缶、カセットボンベ、ライターなどを誤った方法で出すと、収集車両の火災に繋がり大変危険です。

これらのごみは右の表にあるように、それぞれ決められたルールを守って出してください。

品名	出し方	出す日
スプレー缶、カセットボンベ	中身を使い切り、穴を開けてから透明・半透明の袋に入れる	特定ごみの日 第2・第4水曜日
ライター	中身を使い切り、ライターだけを透明・半透明の袋に入れる	



information
医療保険

問合せ

医療保険係 ☎32-2214

医療費適正化にご協力を

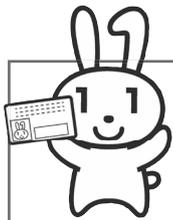
休日や夜間、軽症患者の救急医療への受診が増加し、緊急性の高い重症患者の治療に支障をきたすケースが発生しており、病院勤務医の負担が過重となる要因にもなっています。

必要な人が安心して医療を受けられるように、また、保険料や窓口負担として皆様が支払う医療費を有効活用するため、医療機関・薬局を利用するときには、次のことに留意しましょう。

受診の際の留意点

- 休日・夜間の受診は控える。
- 夜間・休日に子どもの急な病気で心配になったら、まず、こども医療でんわ相談を利用する。
- ※小児科医・看護師が電話相談を受け付けます。
- かかりつけ医をもち、同じ病気で複数の医療機関を受診することは控える。
- 薬が余っているときは、医師や薬剤師に相談する。
- 薬の飲み合わせに注意する。
- 後発医薬品(ジェネリック医薬品)を活用する。
- 一年に一度は特定健診を受診し、病気の早期発見・治療を心がける。

こども医療でんわ相談(毎日19時～翌朝8時)
#8000または☎011-232-1599



**10月20日からマイナンバーカードが
保険証として利用できるようになりました**

※赤平市内の医療機関はまだ使用できません。

問合せ
医療保険係
☎32-2214

マイナンバーカードを保険証として利用できるように登録すると、高額療養費の限度額認定証など申請書類が不要になり、社会保険への保険証切替を待たずマイナンバーカードで受診ができる(保険者への加入・喪失手続きは従来どおり必要です)などのメリットがありますので、マイナンバーカードの作成をご検討ください。

保険証として使用するためには

利用者証明用電子証明の申請や、マイナポータルでの初回登録が必要です。

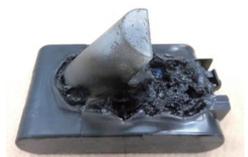
なお、医療機関によってははまだ開始していないところもありますので、医療機関にご確認ください。

※従来の保険証もこれまでどおり使用可。

【発火の恐れ】環境省からのお知らせ

ダイソン株式会社のコードレス掃除機用の非純正バッテリーパックから出火したとみられる火災が多発しています。

同製品を使用されている方は、処理方法が決定するまで金属製の容器に入れ、可燃物から遠ざけて安全に保管してください。



参考:

発火したバッテリー本体の画像
(経済産業省ホームページから)

火災事故の発生が確認されたバッテリーパックには、輸入事業者名(Orange Line DC60【画像左】、ROWA・JAPAN DC62【画像右】)が表示されています。(画像:経済産業省ホームページから掲載)



問合せ

- 環境省 廃棄物適正処理推進課
☎03-5521-9273(直通)
- 経済産業省 製品事故対策室
☎03-3501-1701(直通)